

【本件リリース先】

平成 29 年 6 月 26 日(月)15:00

(資料配付)

文部科学記者会・科学記者会、原子力規制庁記者会(仮称)、福島県政記者クラブ、いわき記者クラブ、いわき記者会



平成 29 年 6 月 26 日
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
廃炉国際共同研究センター

平成 29 年度第 2 回福島リサーチカンファレンス(FRC)の 開催について(取材案内)

東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の廃止措置では、原子力分野に限らず様々な専門分野の研究者が横断的に協力し、課題解決に向けて取り組むことが必要です。

このため、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 廃炉国際共同研究センターでは、廃炉関連の基盤研究を取り扱う「福島リサーチカンファレンス(FRC)」を福島で継続的に開催し、国内外の知見を活用することとしております。

今年度の第 2 回FRCは、今後の廃止措置研究の促進を図るため、国内外の材料科学や熱力学などの基礎基盤研究、シビアアクシデント解析やモデリングに関する専門家による分野横断的な意見交換を行う「シビアアクシデント時の燃料・炉心損傷に係る材料科学、熱力学、シビアアクシデント解析及びモデリングに係るワークショップ」を開催いたします。

つきましては、下記のとおり取材の御案内をさせていただきます。

記

1. 開催概要

- (1) 名 称 : 平成 29 年度第 2 回福島リサーチカンファレンス(FRC)
「シビアアクシデント時の燃料・炉心損傷に係る材料科学、熱力学、シビアアクシデント解析及びモデリングに係るワークショップ」
- (2) 日 時 : 平成 29 年 7 月 5 日(水) 9 時 20 分～12 時 30 分
- (3) 場 所 : 富岡町文化交流センター学びの森 大会議室
(福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622-1)
- (4) プログラム : 別紙参照
- (5) 言 語 : 本カンファレンスの使用言語は英語となります。
通訳はございませんので、予め御承知おき下さい。

2. 取材申込 : 取材を希望される方は、別添取材申込書にて 7 月 3 日(月)15 時までに FAX でお申し込みください。

【本件に関する問合せ先】

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
福島研究開発部門福島研究開発拠点

福島事業管理部 益子 TEL 0246-35-7650 FAX 0246-24-4031

プログラム

7月5日(水)

○開会挨拶 (9:20-9:30)

日本原子力研究開発機構 木村貴海

○セッション 1 Updating knowledge (9:30-10:30)

(基調講演(知見のアップデート))

1) Progress of evaluation of RPV/PCV-failure of FDNPS 1

(福島第一原子力発電所の RPV / PCV 不全の評価の進捗)

東京電力ホールディングス(株) 溝上伸也 博士

2) SAFEST roadmap of EU corium experimental research

(EU のコリウム実験研究の SAFEST ロードマップ)

CEA(仏国原子力・代替エネルギー庁) C. Journeau 博士

3) Status of NUCLEA/MEPHISTA databases, potential learnings from database analyses for FDNPS material behavior

(NUCLEA / MEPHISTA データベースの現状、FDNPS のマテリアル振る舞いのデータベース解析による可能性のある研究)

IRSN (フランス放射線防護原子力安全研究所) M. Barrachin 博士

休 憩 (10:30-10:50)

○セッション 2 Fuel degradation modeling, simulation test (10:50-12:30)

(燃料劣化モデリング、シミュレーションテスト)

1) History, actual state and prospects of R&D activities of the severe accident on RASPLAV platform

(RASPLAV プラットフォームにおける重大事故の研究開発活動の歴史、現状と展望)

NITI (ロシアアレキサンドロフ工学研究所) V. Almiashvili 博士

2) Fuel assembly degradation test using plasma heating method

(プラズマ加熱法による燃料集合体劣化試験)

日本原子力研究開発機構 佐藤一憲 研究員

3) MISTEE project on Fuel-Coolant interaction in KTH

(KTH における燃料 - クーラント相互作用に関する MISTEE プロジェクト)

KTH(スウェーデン王立工科大学) W. Ma 助教授

4) R&Ds on fuel and control rods degradation behavior in CRIEPI

(電力中央研究所における燃料および制御棒の劣化挙動に関する研究開発)

(一財)電力中央研究所 中村勤也 博士

5) Physical and chemical behaviors of partially oxidized corium during severe accident progression

(重度事故の進行中に部分的に酸化された真皮の物理的および化学的挙動)

KAERI (韓国原子力研究所) J-H. Song 博士

以上

平成 29 年 月 日

平成 29 年度第 2 回福島リサーチカンファレンス(FRC)

＜取材申込書＞

送付先:国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
福島研究開発部門 福島研究開発拠点 福島事業管理部 行

(FAX 0246-24-4031)

御社名 _____
(連絡先電話番号 _____)

取材者氏名

所属	氏名

- (1) 使用言語は英語です。通訳はありません。
- (2) 取材を希望される方は、本取材申込書を御記入の上、7 月 3 日(月)15 時までに FAX でお申し込みください。